

群 教 セ	F09 - 01
	平21.241集

# 自己有用感を高める学級活動の研究

— 話合いと振り返りの工夫を通して —

長期研修員 青木 千枝子

## 《研究の概要》

本研究は、小学校の学級活動において、話し合ったり、振り返りを行ったりする中で、児童の自己有用感を高めることを目指したものである。「話合いシート」を活用した話合いの在り方を工夫し、一人一人の意見を大切にすると話合いを行った。また、「振り返りシート」を活用し、自分が役に立っていると実感できる振り返りを行った。

**キーワード** 【学級活動 自己有用感 話合い 振り返り】

## I 主題設定の理由

子どもたちは、他者とかかわり合う中で、思いを表現したり、他者の言動を尊重したり、折り合いをつけて意見をまとめたりする経験を通して、人とかかわり方を学んでいる。しかし、情報化、少子化、地域社会のつながりの希薄化など、子どもたちを取り巻く環境の変化や、異年齢の友達を含む集団で遊ぶ機会の減少、遊びの質の変化などから、現代の子どもたちは、様々な立場の人と共に行動することが少なくなり、人とかかわる力を高めることが難しくなっている。

平成20年3月の学習指導要領の改訂に伴い、特別活動の目標に「人間関係」や「自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う」が加えられた。これは、望ましい集団活動を通してよりよい人間関係を築くとともに、豊かな人間性や社会性、自立性を備えた児童を育てることを目指したことによるものである。本県でも、『学校教育の指針』で、よりよい生活や人間関係を築く力の育成を目指し、生徒指導では、「互いを認め合う学級をつくること」を指導の重点としてあげている。

協力校の小学校高学年の児童は、委員会活動や学校行事など児童の代表として、役割や責任を自覚して行動できる児童が多い。しかし、人間関係に悩んだり、先頭に立って活動することに消極的になったりする児童も少なくない。仲良しグループから拒否されないよう遠慮や気兼ねをして、当たり障りのないような受け答えをしたり、人から反対されて自分が傷つかないように本音でものを言うことを避けたりする様子も見られる。集団の中で目立たないように気を配り、力を発揮できない児童がいる反面、主張するだけで相手の話を聴

こうとしない児童も多い。

児童が自他共に尊重しながら思いを素直に表現したり、集団の中で力を発揮したりするためには、互いに認め合う関係を築き、児童の自己有用感を高める必要がある。自己有用感とは、児童同士が共に行動する中で、「大切にされた、役に立っている」と感じることで高まる。自己有用感が高まることにより、友達を信頼し、思いを素直に表現したり、自信を持って集団の中で力を発揮したりすることができるようになる。

そこで、学級活動において、児童同士が、協力して取り組むことができる集団活動を計画しようと考えた。集団活動に向けての話合いを工夫して行い、一人一人の意見を大切にしたり、振り返りで互いに認め合ったりすることで、児童は、「大切にされた、役に立っている」と感じることで、児童の自己有用感が高まると考え、本主題を設定した。

## II 研究のねらい

学級活動において、「話合いシート」を活用し一人一人の意見を大切にすると話合いを行ったり、「振り返りシート」を活用し互いに認め合う振り返りを行ったりすることは、自己有用感を高めるのに有効であることを、実践を通して明らかにする。

## III 研究の見通し

1 「話合いシート」を活用した話合いにおいて、一人一人の意見を大切にすれば、自分は集団の中で大切にされていると感じ、自己有用感を高めることができるだろう。

2 「振り返りシート」を活用した振り返りを行い、自他のよさに気づき、互いに認め合ったり、感謝されたりすれば、自分は集団の中で役に立っていると感じ、自己有用感を高めることができるだろう。

#### IV 研究の内容

##### 1 基本的な考え

###### (1) 自己有用感を高めるとは

自己有用感とは、「家族や友達グループ、学校、地域など自分の属する集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということをも自分自身で認識すること」である。児童同士が共に行動する中で、「大切にされた、役に立っている」と感じることで、自分は集団の中で大切な存在であると認識することができ、自己有用感が高まると考える。

###### (2) 話合いの工夫

###### ① 「話合いシート」を活用した話合いについて

本研究では、学級活動「学習クイズ大会」の内容や仕事分担などについて班ごとに話合いを行う。意見を述べたり、他者の意見をよく聴いたり、折り合いをつけて意見をまとめたりして、全員が「自分の意見が大切にされた」と実感できるように、「話合いシート」を活用し、話合いの在り方を工夫する。

話合いで「自分の意見が大切にされた」と感じるためには、自分の考えを相手に伝え、それを聴いてもらうことが必要である。

全員が発言できるようにするための工夫として、ブレインストーミングの考え方を活用し、思いつくままにアイデアをどんどん出し合う活動を取り入れる。それを肯定的に聴いてもらうことで、自分の意見を持ち、発言することの気持ちよさを味わい、発言する意欲を高める。また、発言に対する緊張感を減らすために、考えを書き、発言内容を明確にしてから話合いを行う。

互いに相手の意見に耳を傾け、意見を聴いてもらうことの気持ちよさを味わえるように、話合いの手順や約束を工夫する。全員が順番に発言し、発言の機会を保証することで、他者の発言を落ち着いて聴くことができるようする。「他者の意見を最後まで聴くこと」や「相手の気持ちを考えながら発言する」など話合いの約束を設ける。また、「話合いシート」を活用して、話合いの順序を明確にし、話合いの目当てや約束を意識して話合い

に臨むことで、主張するだけでなく相手のことも考えながら意見を述べたり、相手の考えを聴いたりして、折り合いをつけて意見をまとめられるようにする。

視覚による情報があると、児童は話合いに集中することができ、内容も理解しやすい。そこで、付せん紙に自分の考えを書き、話合いの進行に応じて付せん紙を操作することで、話合いの順序や経過を「話合いシート」上で確認できるようにする。

以上の点を考慮した話合いを行う手だてとして4枚の「話合いシート」を作成した。

表1 話合いシートと使用目的

目的	話合いシート
考える意欲をもつ	学習クイズ見つけシート 仕事見つけシート
話すことへの抵抗をなくす	学習クイズ見つけシート ランキングシート 仕事見つけシート
話合いの順序や経過を確認する	学習クイズ見つけシート ランキングシート 仕事見つけシート 仕事分担シート
よく聴き、折り合いをつけて意見をまとめる	ランキングシート 仕事分担シート

###### ② 教師のかかわり方について

話合いの内容や目当て、「話合いシート」を活用した話合いの順序について、児童が理解してから話合いに臨めば、班長を中心に話合いを進めることができる。その間、教師は、児童一人一人の話合いの様子を観察することができ、個別に支援したり、よさを見取って褒めたりすることが可能となる。小さなよさや他者への心遣いが感じられる発言を見逃さずに認めれば、児童は自信をもって話合いに臨むようになり、自己有用感を高めることができると考える。

###### (3) 振り返りの工夫

振り返りとは、自分自身の活動を見つめ直し自分自身の在り方について考えていく活動である。活動中に感じたことを振り返りで明確にすることで、内面の変容や成長を促すことができると考える。

ねらいに即して気づきを明確にし、互いに認め合えるように、各活動ごとに「振り返りシート」を作成する。活動の目当てに対して自分の言動はどうであったか、自己内対話を促すための質問を設け、それに記入することで、自分自身の言動を振り返る。気付いたことを述べ合うことで、新たな気づきを促す。

また、一人一人の「振り返りシート」に班の全員がよさを記入する欄を設け、班全員で認め合え

るようにする。他者に認めてもらうことで、自分では気付かなかった自己のよさに気付く。さらに、認められる気持ちよさを感じることで、自分も他者のよさを見つけて認めようとする意欲を高めることができると思う。

「振り返りシート」を用いて振り返りを行い、自己のよさに気付いたり、互いに認め合ったりすることで、「自分は役に立っている、集団の中で大切な存在である」と感じ、自己有用感が高まると考える。

振り返りシートを用いた振り返りの手順は、以下の図の通りである。

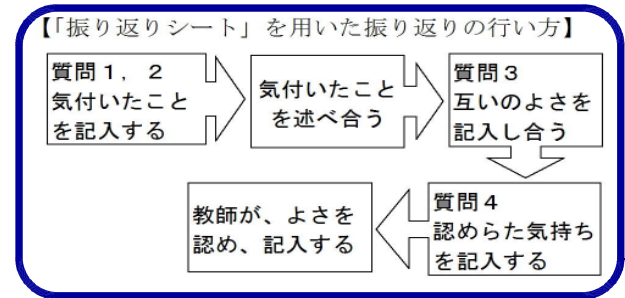


図1 振り返りの行い方

## 2 研究構想図

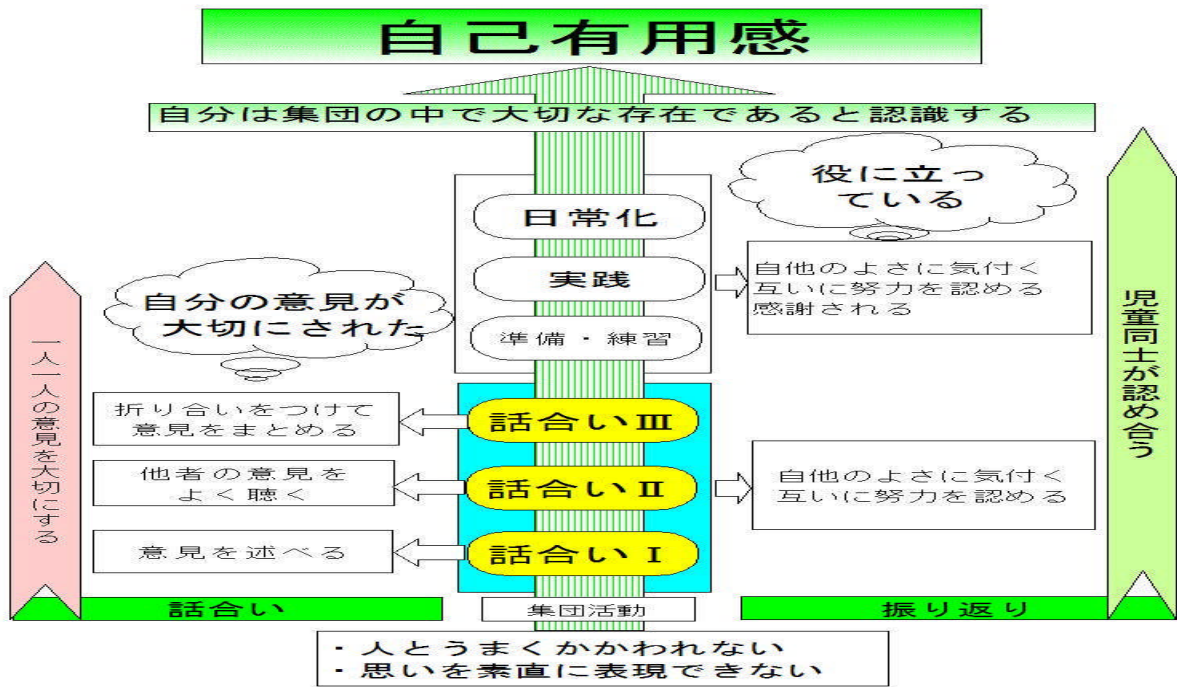


図2 研究構想図

## 3 研究計画

### (1) 実践計画

対象	小学校6年〇組 35名	期間	10月15日～11月24日
単元名	学習クイズ大会をしよう 6時間	指導者	長期研修員 青木千枝子

### (2) 検証計画

研究仮説	検証の観点	検証の方法
見通し1	「話し合いシート」を作成し、それを活用した話し合いを工夫して行い、全員が意見を述べたり、他者の意見をよく聴いたり、折り合いを付けて意見をまとめたりするなど、一人一人の意見を大切にすることは、自分は集団の中で大切にされていると感じ、自己有用感を高めるのに有効であったか。	・活動観察 ・活動前後の行動の観察、比較 ・「振り返りシート」の内容 ・活動前後のアンケートの比較
見通し2	「振り返りシート」を活用した振り返りを行い、自他のよさに気づき、互いに認め合ったり、感謝されたりしたことは、自分は集団の中で役に立っていると感じ、自己有用感を高めるのに有効であったか。	・抽出児童Aの変容

### (3) 指導計画

過程	活動時間	ねらい	活動内容
話し合いⅠ	学級活動	たくさん発言し、肯定的に聴いてもらうことにより、満足感を得る。	「学習クイズ見つけシート」を活用し、学習クイズ大会で行なうようなクイズを見つける。
振り返りⅠ	帰りの会	発言について振り返り、「発言できた」と実感する。	「振り返りシートⅠ」を活用し、話し合いⅠを振り返る。
話し合いⅡ	学級活動	班の人の意見をよく聴き、意見交換することで、	「ランキングシート」を活用し、班の人の意見

振り返りⅡ	帰りの会	「聴いてもらえた」と満足感を得る。 話の聴き方や意見の述べ方について振り返り、「話を聴くことができた」と実感する。	をよく聴いたり、意見交換をしたりして、班で行うクイズの種類を決める。 「振り返りシートⅡ」を活用し、話し合い活動Ⅱを振り返る。
話し合いⅢ	学級活動	話し合いで意見を述べたり、折り合いを付けて意見をまとめたりすることで、「自分の意見が大切にされた」と実感する。	「仕事見つけシート」と「仕事分担シート」を活用し、意見を述べたり、折り合いをつけて意見をまとめたりして、準備や当日の仕事分担を決める。
振り返りⅢ	帰りの会	発言や折り合いのつけ方について振り返り、「自分の意見が大切にされた」と実感する。	「振り返りシートⅢ」を活用し、話し合い活動Ⅳを振り返る。
準備、練習 振り返りⅣ	朝の会や 休み時間 帰りの会	自分の仕事について責任を果たしたり、協力したり、助け合ったりしたことを振り返り、認め合ったり、感謝されたりすることで「役に立った」と実感する。	準備や練習をする。 「振り返りシートⅣ」を活用し、3回の準備や練習を振り返る。
学習クイズ大会 振り返りⅤ	学級活動 学級活動	努力したことやうれしかったことなどを振り返り、認め合ったり、感謝されたりすることで、「自分は集団の中で大切な存在である」と実感する。	「学習クイズ大会」を行う。 「振り返りシートⅤ」を活用し、集団活動（話し合い・準備・練習・大会）を振り返る。
振り返りⅥ	帰りの会	一日の学校生活を振り返り、自他のよさを見つけたり、認め合ったり、感謝されたりすることで、「自分は集団の中で大切な存在である」と実感する。	

#### (4) 抽出児童について

A：「できない」「無理」など自分に対して否定的な発言が多い。活動意欲に欠け、自分から行動することは少ない。他者に対して、思いやりをもって接することができる。

## V 研究実践

### 1 話し合い I

ねらい：たくさん発言し、肯定的に聴いてもらうことにより、満足感を得る 話し合いのテーマ：学習クイズ大会で行うクイズを見つけよう 使用する話し合いシート： 学習クイズ見つけシート	
活動の概要と教師の支援	児童の様子（*は、抽出児童の様子）
<p>1. クイズの種類を考える</p> <p>○考えたことを緊張せずに話せるように、各自、クイズ名を付せん紙に書く。</p> <p>○導入で学習クイズを行い、学習クイズのイメージを共有する。その中からやりたいものを選んで付せん紙に書いてもよいこととする。</p> <p>○付せん紙に書けない児童には、教科書や資料集を用意し、「このページからどんな問題ができるかな」など声を掛け、教師と一緒に考える。</p> <p>2. 班の中で順番にクイズ名を発表しながら、付せん紙を「学習クイズ見つけシート」に貼る</p> <p>○クイズの内容を簡単に説明しながら、「学習クイズ見つけシート」に付せん紙を貼ることで、話し合いの経過を確認できるようにする。</p> <p>○順番に発言することで、全員が発言できるようにする。</p> <p>○自分が考えたクイズを全て発言できるように、自分と同じ考えが先に出ている場合は、付せん紙を重ねて貼り「○○さんと同じで～です」と発言する。</p> <p>○発言者が気持ちよく意見を述べることができるように、「だめ」「無理」など否定しないで聴く。</p>	<p>35名中34名の児童がたくさんの学習クイズを考え、付せん紙に書くことができた。見つけたクイズを発表する場面では、付せん紙にクイズ名が書いてあることと、順番で発言したことから、普段は発言しない児童も発言できた。付せん紙を残さず発表すること、自分と同じ考えが先に出ている場合は、付せん紙を重ねて貼り発言するようにしたことで、児童は、考えたクイズを全部発表していた。また、「否定しないで聴く」ことを話し合いの約束としたため、どの児童も、「それいいね」「なるほど」などと相づちをうつなど肯定的な態度で聴いていた。</p> <p>*Aは学習クイズを見つけることができなかった。教師が「黒板のクイズの中に、やりたいものがある？」と聞いたが「ない」ということであった。教科書や資料集を見せて、「この中から問題を作れないかな。一緒に考えよう」と言ったが、「分からない」と言って、考えようとしなかった。発言する順番がきたときに、「分</p>



図3 学習クイズ見つけシート

<p>3. 班で集めた学習クイズの数を数え、たくさん見つけたことを認め合う</p> <p>* 発言内容はもちろん、発言できたことなど努力を認め、褒めるようにする。</p>	<p>かりません」と発言できたので、そのことを班のみんなと教師で認めた。</p>
---	--

## 2 振り返り I

自分の発言について振り返り、「発言できた」と実感することをねらいとして行った。

「発言したときの気持ち」について班の中で順番に述べ合った。振り返りシートに気付いたことを書くことで、考えが明確になっているので、全員が気付いたことを述べる事ができた。

### 【振り返りシート I】

#### 1 あなたは、発言したとき、どんな気持ちになりましたか。

- 言いたいことを思ったとおりに言えてよかった。
- なんか、すっきりした。気持ちよかった。楽しかった。
- 自分の意見をほめてもらってうれしかった。
- みんなが聴いてくれてよかった。
- はずかしかった。(抽出児童 A : 以下 A) など

また、班の人の話の聴き方についての振り返りでは、全員が自分の発言を「聴いてもらえた」と書いた。発言できたことと発言を肯定的に聴いてもらえたことで、児童は「発言できた」という満足感を得ることができたと考える。

### 2 あなたの発言を聴いてもらえましたか。なぜ、そう思いますか。その時、どんな気持ちになりましたか。

- 私の目を見て聴いてくれたからです。
- みんなうなずいて、返事をしてくれたから分かってきているなど思った。 など

その後、班の中で振り返りシートを回して、それぞれのよさをシートに書いた。

### 3 あなたの発言について「いいな。自分もそうしたいな。がんばったな」と思ったことを書いてもらいましょう。

- すごいアイデアだと思う。
- 「思いつきません」とちゃんと伝えてよかった。
- めっちゃくちゃ声が大きくて、よく発言できたと思います。
- 静かに聴いてくれたことがよかったと思います。 など

全員によさを記入してもらった後、シートが戻ってきたとき、皆、うれしそうな表情で班の人が書いた文を読んでいた。立ち上がって、「うわあ、うれしい。先生、感動したよ」と声をあげた児童もいた。Aは「思いつきませんとちゃんと伝えてよかった」と班の人に書いてもらった。それをAは真剣に読んでいた。

## 3 話し合い II

ねらい： 班の人の意見をよく聴き、意見交換することで、「聴いてもらえた」と満足感を得る

話し合いのテーマ： 自分の班が行うクイズの種類を決めよう

使用する話し合いシート： ランキングシート

活動の概要と教師の支援	児童の様子（*は、抽出児童の様子）
<p>1. 班で行いたいクイズについて、自分の意見をまとめる</p> <p>○考えをまとめ、発言への緊張感を減らすために、各班の「ランキングシート（個人用）」に載っているクイズについて、やりたいものから順に1位から3位まで番号をふり、それを選んだ理由を書く。</p> <div data-bbox="169 1496 845 1691" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ランキング個人シートについて】</p> <p>話し合い I で児童が考えたクイズを基に、事前に班長が、班ごとに「ランキング個人シート」を作成する。児童の考えを全て「ランキング個人シート」に載せ、それを生かして話し合い II を行うことで、自分の発言が大切にされていると感ぜられるようにする。</p> </div> <p>2. 班で行うクイズについて、話し合う</p> <p>①順番に、行いたいクイズ（1位から3位）と、それをやりたい理由を述べる</p> <p>○班長は、班の人の発言を聴きながら、クイズ名が書かれた付せん紙（話し合い I で児童が書いたもの）を「学習クイズ見つけシート」（話し合い I で使用）から、「ランキングシート」に移す。</p> <p>②内容が似ているクイズについて、まとめてよいか話し合う</p>	<p>「ランキング個人シート」に自分の考えを明確にしてから、話し合いを行ったので、ほとんどの児童が意見を述べる事ができた。前時の振り返りで「話を聴いてもらえたと思う理由、聴いてもらえたときの気持ち」について振り返りシートに書いたもので、それを紹介し、話し合いの約束と共に話の聴き方について意識付けを行った。児童は「話の聴き方」を意識しながら、顔を見てうなずいたり、ほほえんだり、相づちを打ったりして、最後まで発言を聴く事ができた。順番がきて、すぐに発言できない児童もいたが、班長が発言を促して、他の児童は発言を待つ様子が見られた。</p> <p>似ているクイズをまとめる場面では、意見を述べた後、班の人の考えを確かめることとしたため、一人の意見に対し、全員が自分の考えを述べる事ができた。○班の話し合いで、Dは、「信長の問題のみを出したい」と主張していた。BとCが、Dの意見を大切にしつつうまくまとめようと努力し、最後にDも皆の意見に従った。Aが黙っていたので、班長はAに考えを聞いていた。</p>

○落ち着いて発言したり、聴いてもらえたという満足感を得たりできるように、他者の意見を最後まで聴いてから、自分の意見を述べるようにする。

○自分の意見を述べた後、「どうですか」とみんなの考えを聴くことで、自他共に考えを大切に結論を出せるようにする。

○クイズをまとめる場合は、新たなクイズ名を付せん紙に書き、「ランキングシート」に貼られた付せん紙の上に重ねることで、話合いの経過を確認できるようにする。

\*黙っている児童には、「～さんの考えを聴かせて」

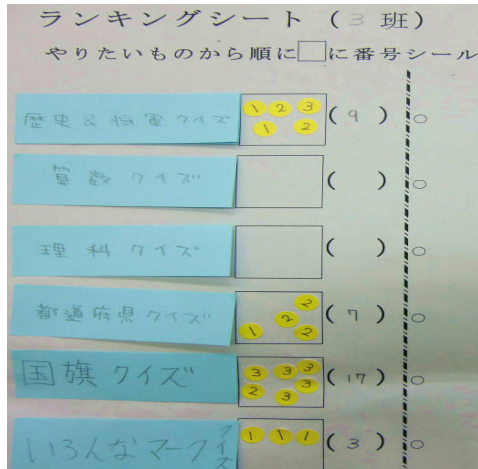


図4 ランキングシート

などと声を掛け、発言を促す。

### 3. 班で行うクイズを決める

①話合いで絞られたクイズの中で、新たに順位を付ける

○各自、行いたいクイズを三つ選び、順位を決め、1位は3点、2位は2点、3位は1点のシールを「ランキングシート」に貼る。

②全員の意見を反映できるように、クイズごとに点数を合計して、数が一番多いクイズを行うことに決める

\*自分が希望したクイズでなくても、みんなで決めたことに協力しようとする態度を褒める。

以下は○班の話合いの様子である。

- B 歴史クイズの中に信長クイズを入れたら
- C 賛成 (F、Hも賛成する)
- D え～。俺、なんか、やだなあ
- B 歴史クイズの問題を出して、その中に信長の問題を入れればいいと思う
- D ううん
- C 一人1題だとしても、6題だよ。信長の問題、出せるよ
- D いいよ
- C どう、A君
- A (うなずく)

話合いで絞られたクイズの中で新たに順位を付け、シールを貼る場面では、一人一人が付けた得点により班で行うクイズが決まるため、真剣にシールを貼っていた。△班では、おとなしく行動が遅れがちな児童に温かい言葉を掛ける場面も見られた。以下は△班の話合いの様子である。

- 5人 (シールを積極的に貼る)
- E (立ち上がってシールを貼ろうとしたが、他の人が前にいたため、なかなか貼れないでいたら、Eが最後になってしまった。1点のシールは、すぐに貼れた。2点、3点は、なかなか貼れずにいた。) え～、どうしよう
- 5人 (優しく) 自分の考えでいいんだよ
- E (シールを貼る)

\*Aは、自分がやりたいクイズについては、「分かりません」と発言した。クイズをまとめる場面では、うなずいて意思表示をした。クイズを決める場面では、やりたいクイズを選び、進んでシールを貼ることができた。

## 4 振り返りⅡ

話の聴き方や意見の述べ方について振り返り、「話を聴くことができた」と実感することをねらいとして行った。

どんなことに気を付けて話を聴いたか気付いたことを述べ合った。35名中33名の児童が、授業のねらいを意識して聴くことができた。

### 【振り返りシートⅡ】

1 あなたは、どんなことに気を付けて、班の人の話を聴きましたか。

- 話をしている人の方(顔・目)を見て聴いた。
- 相手の言いたいことは何かと意識して聴いた。など 33名

また、33名の児童が相手の意見に対する「自分

の考えを述べることができた」と書いた。

2 あなたは、相手の意見について自分の考えを述べることができましたか。その時、どんな気持ちになりましたか。

- 意見を述べるときは、相手を傷つけないように理由を言った。自分の意見が言えて気持ちがよかった。
- 自分の思っていることが話せてすっきり。 など 33名

Aは、質問1、2とも「分からない」と記入し、「分かりません」と発言した。班の人から、「聴き方がよい」ことを褒められたが、全員が同じ内容だったので、少し不服そうだった。教師は、Aが話合いで意思表示ができるようになってきたこと、振り返りで他者のよさをどんどん記入できることを「振り返りシート」で認めた。

## 5 話合いⅢ

ねらい：話合いで意見を述べたり、折り合いをつけて意見をまとめたりすることで、「自分の意見が大切にされた」と実感する

話合いのテーマ：準備や当日の仕事の分担を決めよう

使用する話合いシート：仕事見つけシート 仕事分担シート

活動の概要と教師の支援	児童の様子(*は、抽出児童の様子)
1. 学習クイズ大会当日の仕事について話し合う ①当日の仕事を見つけ、付せん紙に書く	全員が、当日に必要な仕事を付せん紙に書くことができた。周りの人と「この仕事

- 書くことで、発言に対する緊張感を減らす。
- ②順番に見つけた仕事を発表しながら、付せん紙を「仕事見つけシート」に貼る
- シート上に表すことで、話合いの経過を確認できるようにする。
- ③仕事で足りないものや重複がないか見直す

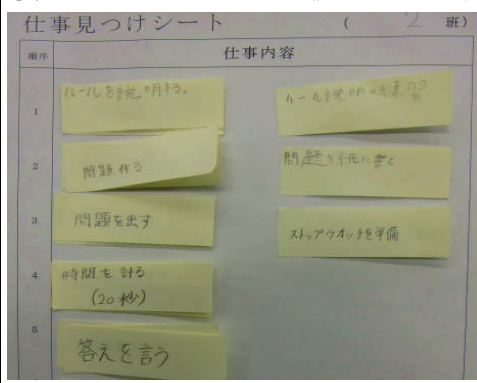


図5 仕事見つけシート

2. 「仕事分担シート」を用いて、仕事を分担する

○順番にやりたい仕事を述べ、同じ仕事を希望する人がいるかを確認する。希望者が複数いた場合、その仕事を行いたい理由を述べ合い、複

数の人で行ったり、似ている仕事に移ったりするなど、できる限り両者が納得する方法を探っていく。その時に、「みんなが気持ちよく仕事を分担するにはどうした

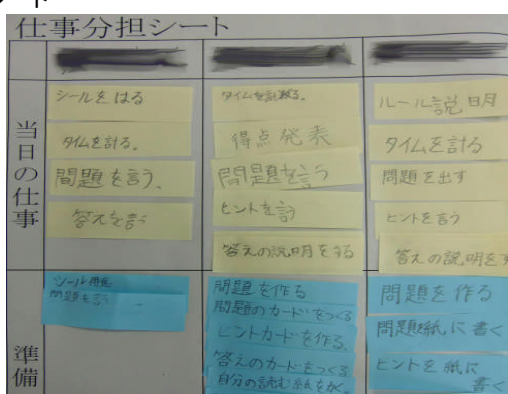


図6 仕事分担シート

らよいかを考えて発言する」という話合いの約束を確認する。

○折り合いをつけて意見をまとめ、分担する仕事が決まったら、「仕事見つけシート」から「仕事分担シート」に付せん紙を移し、話合いの経過を確認できるようにする。

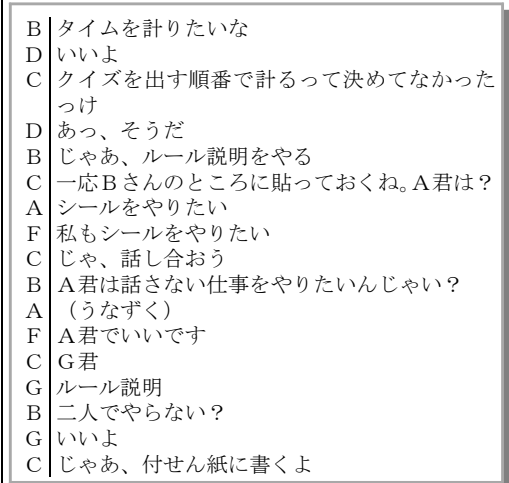
3. 前日までに自分が準備しておくことについて話し合う

- ①自分の分担する仕事について事前に準備しておくことを見つけ、付せん紙に書き、「仕事分担シート」に貼る
- 事前の準備で足りないものがないか確認し合う。
- 班全員の活動内容が分かるように、話合いで決まったことを「仕事分担シート」に表し、活動中に協力し合えるようにする。
- \*折り合いをつけて意見をまとめる場面では、他者への心遣いが感じられる発言を見逃さずに褒めるようにする。また、どちらかが一方的に我慢することがないように注意する。

もいるね」などと話合う様子も見られた。

見つけた仕事を発表する場面では、発表の仕方が話し合いと同じなので、順番にはっきりと発言していた。全員発表した後、「あれ、足りないんじゃない」と児童が進んで仕事を見直し、相談しながら付け足していた。

分担する仕事を決める場面では、付せん紙を仕事分担シートに貼ったり、移動しながら、話し合いを進めていた。順番に自分のやりたい仕事を述べ、その仕事をやりたい人が他にいるか確かめたため、発言力のある児童の考えのみで決めることなく、全員の考えを考慮して決めることができた。複数の人で仕事を行うようにしたり、譲り合ったりしながら、うまく折り合いをつけて意見をまとめていた。



\* Aは自分で仕事を見つけ、付せん紙に書くことができた。仕事見つけ個人シートを見せて、「これは誰がやるのかな」と声を掛けると、新たに付せん紙に書くことができた。見つけた仕事や、やりたい仕事を発言することもできた。同じ仕事を希望した人もいたが、譲ってもらえたので、Aはうれしそうだった。教師が、班全員に「みんな納得した？」と声を掛けると、「大丈夫」という返事が返ってきた。

6 振り返りⅢ

発言や折り合いのつけ方について振り返り、「自分の意見が大切にされた」と実感することをねらいとして行った。意見が分かれたときのまとめ方について、35名中33名の児童が考えを述べることができた。他者の考えも大切に意見をもとめようとする内容であった。

**【振り返りシートⅢ】**

1 意見が分かれたときにどのようにして意見をまとめましたか。(どのようにして意見をまとめれば良いと思いますか。)

○「それもいいけど、これはどう？」と言ってまとめた。

○譲りあったり、その仕事の人数を増やしたり、できるだけみんながよい気分になるようにまとめた。 など 33名

また、今日の話合いで「よかったな。うれしいな」と思ったことについて、35名中34名の児童が具体的に書くことができた。ほとんどの児童が自

他共に意見を大切にできたと感じていることが分かる。

**2 今日の話し合いで、「よかったな。うれしいな」と思ったことを書きましょう。**  
○みんなが、意見について、また意見を言ってくれたのでよかった。  
○みんな納得して話し合いが終わったこと。 など 34名

Aは、自分の振り返りについては、「分からない」と書いた。他者から「やる気が出ていてよかったよ」「発表ができてえらいと思った」「ちゃんと紙に書けていたね」と認められうれしそうだった。

## 7 事前準備の様子と振り返りIV

自分の仕事について責任を果たしたり、協力したり、助け合ったりしたことを振り返り、認め合ったり、感謝されたりすることで「役に立てた」と実感することをねらいとして、事前準備についての振り返りを行った。

自分の果たすべき仕事が明確になっているので、全員が作業に集中することができた。朝の会の時間を3回使って準備をしたが、休み時間に自主的に取り組む児童もいた。準備終了後の振り返りでは、31名の児童が助け合ったり協力したりできたと言った。

**【振り返りシートIV】**  
**1 準備や練習をしたとき、あなたは、自分の仕事について責任を果たしましたか。班の人と助け合ったり、協力したりできましたか。そのときのことを書きましょう。**  
○みんなでアイデアを出し合った。など 「できた」31名  
●自分のことで、精一杯だった。など「できなかった」4名

Aは、問題を一人で作ることができなかつたので、途中まで教師と一緒にいった。班の人から「どういふ問題」など声を掛けられ、照れくさそうだった。

## 8 学習クイズ大会と振り返りV

### (1) 学習クイズ大会の児童の様子

司会者と班長が中心になって、全員が協力して進めていた。仕事分担が明確になっているので、全員が手際よく取り組むことができた。応援したり、正解を喜んだり、楽しそうに活動していた。

### (2) 振り返りV

振り返りVは、学習クイズ大会終了直後に行った。努力したことやうれしかったことなどを振り返り、認め合ったり、感謝されたりすることで、「自分は集団の中で大切な存在である」と実感することがねらいである。学級活動全体を通して、

がんばったことやうれしかったこと、学んだことについて、35名中34名の児童が具体的に述べることができた。

### **【振り返りシートV】**

**1 集団活動を振り返り、がんばったこと、うれしかったことを書きましょう。**  
○みんなが真剣にクイズを考えてくれてうれしかった。  
○班の人が準備に協力してくれたことがうれしかった。  
**2 あなたは、集団活動で学んだことをこれからの学校生活にどのようにいかしますか。**  
○自分の意見をしっかり言って、人の意見もしっかり聴く。  
○自分のためだけでなく人のためにも行動することを学んだ。 など 34名

Aは、振り返りで「考え中です」と発言したが、帰りの会で「相手を怒らせないように言い方に気を付ける」と述べることができた。他の児童が「あつ、俺もだ」と発言した。児童から拍手が起こった。

## 9 振り返りVI

自他のよさを見つけたり、認め合ったり、感謝されたりすることで、役に立てたと実感し、クラスの中で力を発揮しようとする意欲をもつことをねらいとして、学習クイズ大会終了後、一日の学校生活についての振り返りを3日間行った。

1日目は学習用具の貸し借りについての記述が多数あったが、日を追うごとに気付きの内容が広がった。

Aは、クラスの人のことを考えて行ったことの欄に、「集合時間に遅れないようにさっさと行った」と書いた。友達のよさの欄には、「みなさんへ、すげーって言ってくれてありがとう」と書いた。この日の持久走大会の練習で、順位がぐんと上がったことをクラスみんなに褒められて、うれしかったようである。また、同じ班の男子が、「図工の片付けを手伝ってくれてありがとう」書いたので、「C君が片付けを手伝ってくれてありがとうと言ってたよ」とAに伝えた。Aは、照れくさそうに笑った。

### **【振り返りシートVI】 1日目**

**1 今日一日を振り返って、クラスの人のことを考えて行ったことと、友達のよさ(友達といっしょにいて「よかったな、うれしいな、ありがとう」と思ったこと)について書きましょう。**  
**<行ったこと>**  
○ホチキスを友達に貸してあげた。 図工の道具を貸した。  
○おなかが痛いと言っていたので、大丈夫と言った。  
**<友達のよさ>**  
○～を貸してくれてありがとう。  
○一緒に遊んでくれてありがとう。 など



**【振り返りシートVI】 2日目**  
 <行ったこと>  
 ○友達と遊んでいるとき、話合い、譲り合った。  
 ○けがをしている～ちゃんの給食を片付けた。  
 <友達のよさ>  
 ○休み時間に演奏の仕方を教えてくれてありがとう。  
 ○絵をうまいと言ってくれてありがとう。 など

**【振り返りシートVI】 3日目**  
 <行ったこと>  
 ○みんなが騒いだときに注意した。  
 ○掃除のとき、自分のところが終わったので、机を運ぶのを手伝った。  
 <友達のよさ>  
 ○～さんは友達の下代わりに給食当番をやっていました。  
 ○英語の言い方を教えてくれて、ありがとう。 など

## VI 結果と考察

### 1 事前事後のアンケート結果より

活動の事前(9月29日)、事後(11月25日)に、行ったアンケートの結果は、以下の通りである。

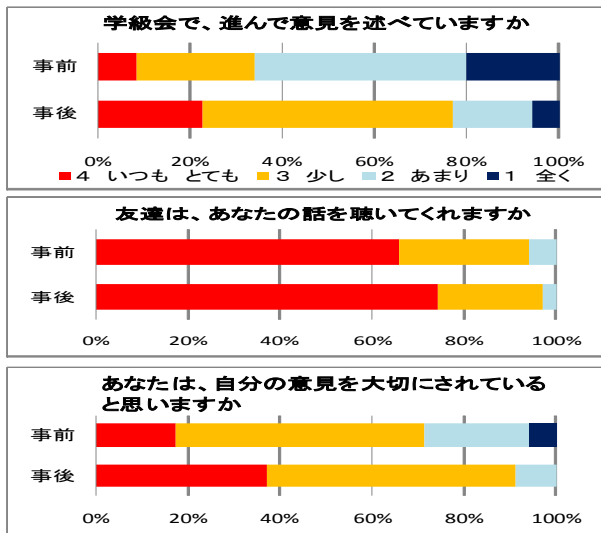


図7 話合いに関するアンケート結果

アンケートの結果で、「進んで意見を述べている」と感じている児童が増えたことから、付せん紙や個人用話合いシートに自分の考えを書き、話す内容を明確にしたり、順番に発言したりすることは有効であったと考える。「話を聞いてもらえる」「自分の意見を大切にされている」と感じている児童が増えたことから、話合いシートを用いて話合いの手順を明確にし、全員が話す機会を設けたり、全員の意見を確認しながら意見をまとめたりしたことは、有効であったと考える。

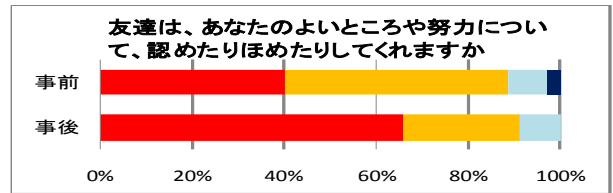
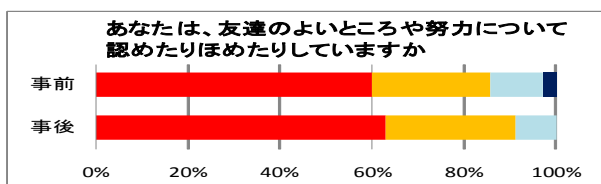


図8 認め合いに関するアンケート結果

事前アンケートでは、60%の児童が「自分は友達のよいところを認めている」と答えているが、「友達が自分のことを認めてくれる」と答えた児童は、40%である。20%の差が出た理由として、友達は褒めてくれるがそれを素直に受け止められないことや、もっと認めてほしいという気持ちが強いことが考えられる。事後のアンケートでは、「友達が認めてくれる」と答えた児童が20%以上増えている。このことから、一人一人の振り返りシートに班の全員がよさを記入することで、自己有用感が高まったと考える。また、認め合うことで、信頼関係が築かれ、友達の言葉を素直に聴くことができるようになったと考える。

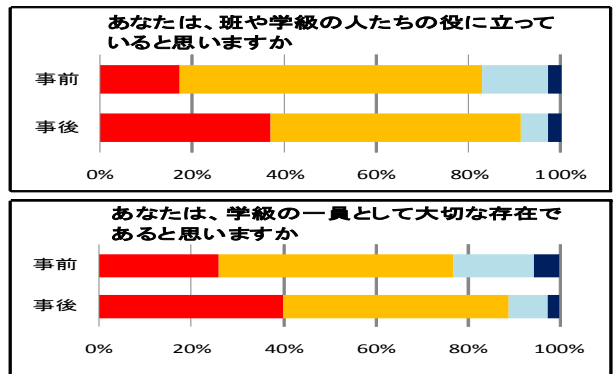


図9 自己有用感に関するアンケート結果

「班や学級の人たちの役に立っている」「学級の一員として大切な存在である」と思うと答えた児童が増えたことから児童の自己有用感が高まったと考える。

### 2 抽出児童Aの変容

Aは、振り返りIからVまで、「分からない」と表現した。しかし、班の人からよさを書いてもらおうと、毎回真剣に読んでいた。始めのうちは、教師が声を掛けても「分からない」と言ってやろうとしなかったが、話合いで班の人から意思を確認されたり、振り返りで表現できたことを認められたりするうちに、自分の考えを付せん紙に書いたり、発言したりできるようになった。それをまた、振り返りで認めてもらい、一層活動意欲を高めるといように、よい方向に円環的に変容した。

以下は、Aのアンケート結果である。

表2 抽出児童のアンケート結果

質問事項	事前→事後
あなたは自分の意見を大切にされていると思いますか	1 → 3
友達はあなたのよいところや努力を認めたりほめたりしてくれますか	1 → 4
あなたは、学級の人たちの役に立っていると思いますか	1 → 4
あなたは、学級の一員として大切な存在であると思いますか	2 → 2

集団活動や振り返りの様子、アンケート結果から、Aの自己有用感が高まったと考える。

### 3 児童の感想

学習のまとめとして、「今の気持ち」を書いた。

○これからも、クラスの人のことを考えて行動したり、友達  
のよさを見つけていきたいなと思いました。クラスの人  
役に立てたらいいなと思いました。  
○みんなほくのことを考えてくれてうれしい。みんな、一人  
一人がよくなっている。ほくも、よくなった。これからは、  
人の気持ちを考えて、行動したり発言したりする。  
○みんなが前よりも掃除をやってくれたり、注意しあってい  
たりして、この学習をしてよかった。みんなが私のよさ  
を見つけてくれたり、褒めてくれてすごうれしい。 など

児童が、他者と積極的にかかわり、意欲的に行動できるようになっていることから、自己有用感が高まったと考える。

### 4 担任による事後の観察

○話し合い活動で、人の意見を聴かず、自分の意見を押し通そ  
うとするあまり、言い合いになってしまい、話し合いが成立  
しないこともあった。今は、みんな、相手の意見を静かに  
聴いているので、落ち着いて安心した表情で話している。  
○授業中、今までは発言しなかった児童も、はっきりと発言  
するようになった。  
○教師から促されて行動していた児童が、進んで動くようにな  
った。 など

普段はおとなしく、自己表現が苦手な児童も、徐々に発言できるようになった。また、意見を押し通そうとしていた児童が、相手の意見に耳を傾け言葉を選んで発言できるようになり、互いに相手を思いやり、意見をまとめられるようになった。児童同士が信頼し合い、安心して思いを表現したり、進んで行動したりしていることから自己有用感が高まったと考える。

## Ⅶ 成果と課題

### 1 成果

○ 「話し合いシート」を活用した話し合いの在り方を工夫し、一人一人の意見を大切にしたり、振り返りシートを活用して、自己を振り返ったり児童同士認め合ったりしたことは、自己有用感

を高めるのに、有効であった。

- 「話し合いシート」を活用して、話し合いの手順や約束を明確にしてから話し合いを行ったので、児童同士が協力し合って話し合いを進めることができた。教師は、児童一人一人の話し合いの様子を観察することができ、個別に支援したり、よさを見取ってほめたりすることができた。
- 「話し合いシート」は、一部を変更することで、学校生活の様々な話し合いで活用できる。児童の実態や育てたい力に応じて、話し合いⅠからⅢのいずれかを選択し、指導することも可能である。
- 話し合いで活発に意見を述べる児童は、振り返りの内容も自己に対して肯定的であったが、話すことが見つからなかったり、作業が遅かったりする児童は、否定的な表現をすることもあった。そのような児童も、「振り返りシート」によさを書いてもらい、班の人から認められることで、意見を述べたり、進んで準備や練習に取り組んだりできるようになった。「振り返りシート」に「自己を見つめる欄」と「よさを認め合う欄」を設け、振り返りで合わせて行ったことが、自己有用感を高めるのに有効であった。
- 「振り返りシート」により、授業では見取りきれない児童の思いを知ることができ、個別の支援に生かすことができた。

### 2 課題

- 自己有用感集団の中で育つ。自己有用感は、集団活動において他者に認められる経験が不可欠である。そのため、集団活動において一人一人が活躍できる場を確実に設けることが必要である。同時に、児童一人一人が自己のよさに気付くことができるよう、教師による個別支援や言葉掛けの在り方を工夫する必要がある。
- 「振り返りシート」で用いる言葉のわずかな違いで、振り返りの視点が変わってしまう。一つ一つの言葉を吟味して「振り返りシート」を作成することが大切である。

### <参考文献>

- ・北島 貞一 著 『自己有用感－生きる力の中核－』 田研出版 (1999)
- ・梶田 叡一 著 『<自己>を育てる－真の主体性の確立－』 金子書房 (2006)
- ・國分 康孝 監修『エンカウンターで学校が変わる』 図書文化 (2006)